

科目名	卒業研究 Graduate Study and Research			担当教員	全教員		
学年	5年	学期	通年	科目番号	09511	単位数	9
分野	専門	授業形式	実習	履修条件	必修得		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り自発的に研究を遂行することによって、実行力、情報収集能力、問題解決能力を身に付ける。 ・担当教員や研究室員等との打合せや議論を通して、さらには卒業研究発表会等を通して第三者とのコミュニケーション能力を身に付ける。 ・論文概要集および本論文の作成を通じて、分かり易い報告書の作成方法を身に付ける。 						
進め方	<p>まず、指導教員の指導・助言のもと、選定された研究テーマに対して、その実施計画の立案、遂行、結果のとりまとめ、までの過程を経験してもらう。研究は、授業時間を中心とし、長期休暇や放課後等も有効に活用して、自立して課題に取り組んでもらう。次に、論文概要集および本論文の作成と指導教員によるそれに対する校正によって論文作成技術を学んでもらう。最後に、卒業研究発表会の準備・練習とそれらに対する教員等の指導・助言、さらには発表会での実際の発表と参加者との質疑応答を通じて第三者への意志伝達能力を高めてもらう。</p>						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 情報収集 (2) 研究の遂行 (3) 得られた結果の整理および分析 (4) 論文概要集および本論文の作成 (5) 卒業研究発表 			<p>以下の各項目が実施できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を様々なメディアを通して得ることができる。 ・指導教員および研究室員としっかりとコミュニケーションをとりながら、自ら進んで研究計画を遂行できる。 ・コンピュータや計測機器を有効に利用して、実験や調査を遂行できる。 ・コンピュータや計測機器を有効に利用して、実験や調査から得られた結果や資料を統合、整理、分析できる。 ・コンピュータを効率的に用いて論文概要集および本論文が作成できる。 ・概要集や発表会等をとおして第三者に研究内容を伝達できる。 			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は、普段の取り組み状況および論文の内容に対する指導教員の採点を80%、卒業研究発表会の発表内容（概要集を含む発表の分かり易さ、スライド等の良否、発表・説明時間、質疑応答）に対する会場担当教員による採点の平均を20%として、両者の総合点を用いて行う。 ・60点以上を合格とする。 						
学習・教育目標との関係	<p>建設環境工学コース必修得科目である。</p> <p>(C-3)「卒業・特別研究の遂行」を研究への姿勢、研究の達成度、出席状況等によって評価する。(50%)</p> <p>(D-1)「報告書等の作成」を論文原稿の完成度によって評価する。(20%)</p> <p>(D-2)「口頭発表と質疑応答」を発表会における発表の分かり易さ、発表・説明時間および質疑応答によって評価する。</p> <p>(E-3)「コンピュータ等の有効利用」を論文内容、論文原稿およびppt原稿によって評価する。(15%)</p>						
関連科目	建設環境工学科で学ぶ全ての科目						
教材	教科書、参考書：特になし						
備考	卒業研究として取り組んだ事項について、毎時間、報告書に記録してもらう。詳細な評価基準については、別途書面によって開示する。						